

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第1区分  
 【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2003-10769(P2003-10769A)  
 【公開日】平成15年1月14日(2003.1.14)  
 【出願番号】特願2002-50633(P2002-50633)  
 【国際特許分類第7版】

B 0 5 C 9/12  
 B 0 1 J 19/12  
 F 2 1 V 7/00  
 F 2 1 V 29/00  
 G 2 1 K 5/00  
 H 0 1 J 61/52  
 // F 2 1 W 131:40  
 F 2 1 Y 103:00

## 【F I】

B 0 5 C	9/12	
B 0 1 J	19/12	C
F 2 1 V	29/00	Z
G 2 1 K	5/00	Z
H 0 1 J	61/52	N
F 2 1 V	7/12	H
F 2 1 W	131:40	
F 2 1 Y	103:00	

## 【手続補正書】

【提出日】平成16年12月10日(2004.12.10)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細長い放射光源と、

該放射光源を部分的に包囲し、支持体上の塗膜を硬化させるように放射光を支持体に向けて下向きに放出するための開口を有する細長い反射表面を備えた反射体であって、該放射光源が位置するキャビティを形成する第1相対位置内であって該反射表面が設けられる表面上に他の本体部材が保持される際に互いに組み合う形をそれぞれが有する2つの本体部材を備える反射体と、

各本体部材を通った水流を冷却するための少なくとも1つの通路と、

水流を冷却するためであって、前記開口付近に配置された管とを備え、

一方の本体部材内の前記通路は他方の本体部材内の前記通路に連結されている該管に連結されていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項2】

細長い放射光源と、

該放射光源を部分的に包囲し、支持体上の塗膜を硬化させるように放射光を支持体に向けて下向きに放出するための開口を有する細長い反射表面を備えた反射体であって、該反射表面はほぼ凹状の輪郭を有し、前記放射光源は該凹状の部分の底部付近に配置された反

射体とを備えるランプアセンブリであって、

該反射体は放射光源を配置するキャビティを形成する第1相対位置内であって該反射表面が設けられる表面上に反射部材が保持される際に互いに組み合う形をそれぞれが有する2つの反射部材を備え、

前記放射光源は一方の部材と共に、他方の部材に対して、前記光源をユーザの近づきやすいような第2位置へ移動可能であるように取り付けられていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項3】

請求項2に記載されているランプアセンブリであって、

前記反射部材の各々は、水流を冷却するための少なくとも1つの通路を備えた本体部材を有し、

該ランプアセンブリは、水流を冷却するためであって、前記開口付近に配置された管を有し、

一方の本体部材内の前記通路は、他方の本体部材内の前記通路に連結された前記管に連結されていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項4】

請求項3に記載のランプアセンブリであって、前記移動可能な本体部材は、前記管の長手方向の軸線に平行な回動軸線を中心にして他方の本体部材に対して回動可能であることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項5】

請求項1から4のいずれかに記載のランプアセンブリであって、

前記反射表面は、前記開口の縁部間に、前記光源が位置する中心線に関して対称である湾曲したほぼ凹状の輪郭を有しており、

前記反射体は、前記開口の前記縁部から下向きに延出して、前記反射表面によって反射された放射光を反射して前記中心線に向けてそらすように構成された2つの細長い放射光ダイバート表面を設けていることを特徴とする記載のランプアセンブリ。

【請求項6】

細長い放射光源と、

該放射光源を部分的に包囲し、支持体上の塗膜を硬化させるように放射光を支持体に向けて下向きに放出するための開口を有する細長い反射表面を備えた反射体であって、該反射表面は、前記開口の前記縁部間に、前記放射光源が位置する中心線に関して対称である湾曲したほぼ凹状の輪郭を有しており、

前記反射体は、前記開口の前記縁部から下向きに延出して、前記反射表面によって反射された放射光を反射して前記中心線に向けてそらし、それによって前記支持体に達する放射光の角伝搬を減少させるように構成された2つの細長い放射光ダイバート表面を有することを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項7】

請求項6に記載のランプアセンブリであって、前記ダイバート表面は、前記中心線から傾斜して延在していることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項8】

請求項7に記載のランプアセンブリであって、前記ダイバート表面は、平坦か、わずかに湾曲していることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項9】

請求項6、請求項7、または請求項8のいずれかに記載のランプアセンブリであって、

前記反射体は前記放射光源が配置されるキャビティを有する本体を含み、

該キャビティは、前記反射表面が設けられ、前記ダイバート表面が前記本体上に取り付けられた個別の端板の上に設けられる面上に設けられていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項10】

請求項8または9に記載のランプアセンブリであって、前記ダイバート表面は、それぞれ

前記本体部材の1つに取り付けられた個別の端板の上に設けられていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項11】

請求項9または10に記載のランプアセンブリであって、前記反射表面は、前記開口のいずれかの側のクランプによって前記キャビティ内に固定された少なくとも1枚のプレートによって設けられており、該クランプは前記端板であることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項12】

請求項9から11のいずれかに記載のランプアセンブリであって、前記端板は、反射性材料で形成または被覆されていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項13】

請求項6、請求項7、または請求項8のいずれかに記載のランプアセンブリであって、前記放出開口付近に水流を冷却する管が設けられていることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項14】

請求項1から4および13のいずれかに記載のランプアセンブリであって、前記管は前記開口に対して、前記光源からの放射光のすべてがそれを通過するような寸法および配置であることを特徴とするランプアセンブリ。

【請求項15】

請求項1から4と13および14に記載のランプアセンブリであって、前記光源の一方に反射する放射が、前記管の長手方向の軸線の上の他方から反射された放射と交差するように、前記光源および前記反射表面に関してランプは配置されていることを特徴とするランプアセンブリ。